

第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当部署	部局名	産業経済部		
	課名	商工振興課		
	係名	商工振興係		
	記入者		電話(内線)	218

1. 事業の概要

(1) 事業種別 [新規又は継続]		継続		(2) 事務事業 の名称		きものday結城開催				(3) 事業の 優先度		A								
(4) 総合計画での位置づけ						(6) 事業主体			市											
① 事業の区分		主要事業						(7) 予算・ 財源等 の種別		事業の性質		一般事業費(ソフト事業)								
② 施策コード		35202		(総合計画掲載ページ)		110				ページ		会計区分		一般会計						
基本目標(政策)		3歴史と自然を育む活力あるまちづくり(産業)				財源区分				市単独										
基本施策		3-5つちかわれた技術を継承する伝統産業の振興(伝統産業)				予算科目				款 7		項 1		目 5						
施策		②伝統産業の振興				予算書上の				観光振興事業										
施策内容		2本場結城紬のPR				事業名称				(予算書		129		ページに掲載)						
(5) 事業期間		開始		平成		21		年		月から		(8) 事務分類			自治事務					
		終了						年		月まで (				力年)		根拠法令		単年度補助金交付要項(観光協会補助金の一部)		

2. 事業の目的及び内容

(1) 対象(だれに対して・何に対して行うのか)	(3) めざす姿(意図・どのような状態になるのか)
きもの愛好者や観光客	きものを着る機会の提供と、結城紬きもの着こちの良さや魅力を体験してもらうことで、和装文化の素晴らしさを実感してもらう。また、イベントを開催することで、中心市街地の賑わいを創出するためにも更なる観光誘客を図る。
(2) 手段(事業内容・どのようなことを行うのか)	(4) 事業開始のきっかけや他市の状況など (※ 1-(8)事務分類が法定受託の場合は記入の必要なし)
きものを着て結城の街並みを散策するイベントを開催する。 結城市観光協会に対し事業費の一部を補助金として交付する。 結城紬きものレンタル、ふらり結城紬着ごち体験、人力車乗車会、お休み処、まちかど広場及び演奏会、ワークショップなどを実施する。	きもの文化の衰退及びきものを着る機会の減少により、地場産業である結城紬の生産規模も減少していることから、きもの文化の発信のためイベント開催を行った。
(5) 事業をとりまく環境の変化(社会環境、市民ニーズ等)や市民・議会の要望、意見等とそれに対する対応	
結城紬の生産反数は年々減少している。今後、産業の振興と結城紬のPRに向けて継続して実施していく。	

3. 事業コスト

行政評価 実施計画		実績内容の評価		検討・改善		検討・改善内容を反映	
● 予算内訳		実績額(千円)	当初予算額(千円)	計画額・見込額(千円)			
事業内容		27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	
(1) 事務事業費の コスト	事業費						
	合計						
	国庫支出金(千円)						
	県支出金(千円)						
財源	地方債(千円)						
	その他特定財源(千円)						
	一般財源(千円)						
	合計(千円)						
	補助・起債制度名						

4. 指標の検証（活動指標・成果指標）								
指標の名称			単位	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
(1) 活動指標（実施した事業の内容）								
指標名	イベント開催数	目標値	日		2	2	2	2
		実績(見込)値		2	2			
		目標値						
		実績(見込)値						
(2) 成果指標（事業実施によるめざす姿の達成度）								
指標名	着物着用客数(抽選会)※2日間	目標値	人		600	650	700	750
		実績(見込)値		473	600	650	700	750
		達成率		63.1 %	80.0 %			
		目標値						
		実績(見込)値						
		達成率	%	%				
5. 事業評価								
(1) 平成27年度の行政評価結果をうけて、平成27年度に取り組んだ改革改善点があれば記載してください。								
イベントの充実を図るため、着物来場者の参加料500円を実現した。また、浦町・大町の自治会の協力を得てお休み処を設置し参加者へのおもてなしを強化した。また、人力車乗車会において、金額の面で高額であったため、NPO法人へ変更した。このことにより、抽選会の商品の本数のアップ等につながられた。								
(2) 項目別評価								
評価項目・客観的評価				理由				
必要性	事業の必要性	A	必要性は高い	産業の振興及び結城紬のPRを行う上で、必要性が高い。				
妥当性	実施主体の妥当性	B	どちらとも言えない	実行委員会のメンバーが、紬関係団体で構成されているが主導をとるメンバーがいないのが現状である。				
	手段の妥当性	C	見直す必要がある	当日の運営に携わる人を入れるなど見直す必要がある。				
効率性	コスト効率 人員効率	C	改善の余地がある	特定のメンバーに負担が大きく偏っている。				
公平性	受益者の偏り	B	どちらとも言えない	きものを着ていないと参加できないと思われるため、多くの市民や観光客が参加できるようにしていく必要がある。				
有効性	成果の向上	B	どちらとも言えない	結城紬の魅力や発信において貢献はしているが、販路に結びついていないのが現状である。				
進捗度	事業の進捗	B	どちらとも言えない	年々参加者は増えつつあるが、きものを着ていない方への誘客方法も考えていかなければならない。				
(3) 総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください。								
イベントが着物を着ていないと参加できないと思われるため、きもの愛好家だけでなく、市民及び観光客が楽しめるイベント構成を考えていく必要がある。また、結城紬の振興・発展並びに観光振興を図るためには、これまで以上に観光誘客活動を活発化させ、1つ1つの事業を磨き上げ、おもてなしを強化するとともに、来場者に対してインパクトのある結城紬振興事業を作り上げる必要がある。								
(4) 対応策・提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか？								
地域資源である「結城紬」を核として、きもの文化や本場結城紬の素晴らしさ、きものを着る機会を提供できる「きものday結城」を展開する。1つ目として、総合案内所を設置し、参加者への案内する他、おもてなし強化を行う。2つ目として、参加者の思い出に残る写真をサービスするフォトサービス事業の実現、3つ目として、フォトコンテストを実施し、歴史的街並みにきものが似合う街として、多くの方へ発信する。更には、参加料を500円→1,000円と値上げし、イベント全体の充実を図る。								
6. 事業の方向性判断								
評価主体		28年度以降の事業の方向性		評価理由・根拠				
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う		改善・改革しながら継続(成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減)		注) 記入者は「5. 事業評価」を記載するため、この欄は未記入で結構です。				
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う		改善・改革しながら継続(成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減)		きものを着て街を散策していただくイベントであるが、ワークショップの拡充や地元商店街の協力を得たおもてなし等を充実させ、より多くの人が楽しめるイベントとして継続していく。				
(3) 最終評価 企画調整会議において評価を行う				上記評価のとおり。				